

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響							
			会計	投入コスト	活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの						
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市農業振興地域整備計画の改定に向け、スケジュールどおり作業が進んだため。	H30年度に改善した点		有	有				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①所沢市農業振興地域整備計画の基礎調査 ②農振協議会 ③ワーキンググループ	計画策定の進捗率	R元年度の計画策定に向けてスケジュールどおり進めるため、計画策定の進捗率を目標とした。				農業振興地域の振興策をより進めていくため、法で求められている項目に、農業振興地域内農地を確認する一筆調査を行うとともに、新規就農や農福連携など市独自の視点を加え案を作成した。							
	根拠法令	農業振興地域の整備に関する法律	6,000千円	5,120千円			H29正規模職員人件費	H29その他職員従事割合			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析			
	事業の目的及び具体的な内容	農業振興地域の整備に関する法律に基づき行った基礎調査(アンケート調査分析、一筆調査、基礎資料及び基礎資料附図作成)の結果及び都市計画の大きな変更を踏まえ、農業振興地域整備計画を改定するものである。	H29正規模職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	50.0%			50.0%				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	期間	H30～H31	0.56人	H30正規模職員人件費				H30その他職員従事割合			R元年度目標	100.0%			目標達成済		今後は、市民説明会、パブリックコメント、農振協議会や県との法定協議を実施していく。また、今後管理をしやすい農用地利用計画及び地番図を完成させる。	
			4,693千円	臨時職員	①基礎資料の完成 ②1回(諮問) ③2回				評価者	農業振興課長 青木 一圭								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	農業遺産の認定は、一次審査(書類審査)の結果、見送られることとなったため。	H30年度に改善した点		有	有				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,549千円	948千円	①認定申請に向けた準備 ②認定申請書提出 ③事務担当者会議及びワーキンググループ会議開催回数	日本農業遺産及び世界農業遺産の認定	狭山茶農業遺産推進協議会は、農業遺産認定に向けた取組を進めていくものであるため、この事務事業評価においても、協議会としての目標を設定する。(なお、目標は数値化できないため、取り組みを目標とする。)				H30目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	狭山茶農業遺産推進協議会規約	274千円	0千円			H29正規模職員人件費	H29その他職員従事割合			H29年度目標	H29実績			協議会の開催			
	事業の目的及び具体的な内容	狭山茶の「日本農業遺産」への認定(7月26日協議会設立以降は、「世界農業遺産」を含む「農業遺産」への認定)を目指すとともに、「自園・自製・自販」という特色あるシステム(6次産業)を打ち出すことにより、狭山茶産地の認知度を高め一層のブランド化を図るものである。	0.36人	H30正規模職員人件費	H30その他職員従事割合	①作成した申請書を総会にて承認 ②一次(書類)審査にて不採用 ③3回及び2回	H30年度目標	H30実績			農業遺産への認定の申請準備に向けた検討				ワーキンググループの立ち上げとその開催		農業遺産の認定は、一次審査(書類審査)の結果、見送られることとなったため。	
	期間	H29年度～	0.33人	2,765千円	臨時職員						R元年度目標	再申請に向けた準備			評価者	農業振興課長 青木 一圭		
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成28年度日本農業遺産認定に伴い、農法を次世代へ継承していくため、協議会としてPR事業や、視察の受け入れを実施。協議会全体で実践農業者は12名増(所沢1名)となった。また、市主催行事として市内実践農業者平地林にて、落ち葉掃きイベントを実施した。	H30年度に改善した点		有	有				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	100千円	100千円	①武蔵野の落ち葉堆肥農法PR事業 ②事務担当者会議開催回数 ③	武蔵野の落ち葉堆肥農法のPR	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会は、伝統的農法を次世代へ継承していくとともに広くPRに向けた取組を進めて行くものであるため、この事務事業評価においても、協議会としての目標を設定する。(なお、目標は数値化できないため、取り組みを目標とする。)				H30目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会規約	100千円	100千円			H29正規模職員人件費	H29その他職員従事割合			H29年度目標	H29実績			落ち葉堆肥農法PR事業の実施			
	事業の目的及び具体的な内容	「農業遺産」への認定を通じて、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとしての武蔵野の落ち葉堆肥農法を広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進するものである。	0.19人	H30正規模職員人件費	H30その他職員従事割合	①武蔵野の落ち葉堆肥農法PR事業 ②5回 ③	H30年度目標	H30実績			落ち葉堆肥農法PR事業の実施				実践農業者の支援方策について協議		目標達成済	
	期間	H29年度～	0.16人	1,341千円	臨時職員						R元年度目標	落ち葉堆肥農法PR事業の実施			評価者	農業振興課長 青木 一圭		
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	既に供用を開始し、管理台帳も作成しているが、1名の地権者から同意が得られず、農道が分断されているため。	H30年度に改善した点		有	有				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	171千円	137千円	①農道下の配管修繕 ② ③	農道完成率	全ての地権者の同意を得て、所有権を取得し、農道を完成させることを目標としているため、供用部分延長/全長の数値を目標値としている。				H30目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	-	172千円	61千円			H29正規模職員人件費	H29その他職員従事割合			H29年度目標	H29実績			100.0%		97.0%	
	事業の目的及び具体的な内容	大型農業機械の導入や農業経営の規模拡大等のため、中富字野原地区の耕作地中央部分に東西を結ぶ農道(通称「中富農道」)を整備し、管理していく。平成28年4月に供用開始、現在、農道の維持管理修繕を行っている。	0.09人	H30正規模職員人件費	H30その他職員従事割合	①1回 ② ③	H30年度目標	H30実績			100.0%				97.0%		1名の地権者から所有権移転に係る同意を得られていない。	
	期間	H20年度～	0.08人	670千円	臨時職員						R元年度目標	100.0%			評価者	農業振興課長 青木 一圭		

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標を達成し、目的とする農地の流動化は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層農地の流動化に努める。	H30年度に改善した点	有	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①売買および貸借成立件数 ②利用集積農地面積	利用集積農地面積(㎡)	農地の利用集積が目的であることから、利用集積された農地面積を指標とする。農地の売り渡し・貸し付け希望に対して、買い受け・借り受け希望が少ないことを考慮した目標値とする。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市農地サポート事業実施要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)									
	所沢市農地サポート事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	遊休農地及び遊休農地化するおそれがある農地の流動化を図り、農業上の利用を確保する。出し手の農地サポート情報台帳の作成及び受け手への閲覧を実施し、農業振興課、埼玉県、埼玉県農林公社等と連携し、農地の流動化を図る。	0.05人	0.00人	20,000㎡		58,757㎡							
	期間	H22年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①26件 ②82,195㎡	H30年度目標	H30実績	50,000㎡					
		0.08人	0.00人	①26件 ②82,195㎡	R元年度目標								
		670千円	0.00人		50,000㎡								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成29年度の狭山茶可能性調査の実施から本格的にフランスへの輸出を開始するために5名の希望者が検査に合格した。また、現地協力者との調整を行い、茶業協会海外展開部会内で会議を重ね実際に輸出を実施し、試験販売にこぎつけた。	H30年度に改善した点	有	有
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加			①輸出国基準合格生産者数 ②海外展開会議開催回数	輸出国基準合格生産者数	EU圏への輸出に必要な基準に合格しなければ、店頭販売ができないことから、基準合格生産者数を指標とする。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市狭山茶海外展開等支援事業費補助金交付要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)									
	狭山茶海外展開等支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	所沢市の基幹産業である狭山茶の新たな需要を見いだすため、所沢市茶業協会が行う所沢産狭山茶の海外展開への取組及びインバウンドの集客への取組に対し、支援を図る。	0.28人		5名									
	期間	H30～H31	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①5名 ②7回 ③	H30年度目標	H30実績	5名					
		2,346千円			R元年度目標								
					7名								
農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする農地基本台帳の情報整備は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、農地情報を適正に管理する。	H30年度に改善した点	無	無
	優先	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	826千円	733千円	①農地等情報移動発生筆数 ②入力筆数	農地基本台帳システムへの農地等情報移動筆数の入力割合(%) (入力筆数÷農地等情報移動発生筆数)	農地情報の整備が目的であることから、情報の入力割合を指標とし、100%の入力を目標とする。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	農業委員会等に関する法律	H30予算現額	H30決算額(見込み)									
	農地基本台帳情報整備事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	法定化された農地台帳の公表に伴い、一筆ごとの農地情報を整理し、農地基本台帳として整備する。	0.24人	0.00人	100.0%		100.0%							
	期間	H27年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①18,200筆 ②18,200筆	H30年度目標	H30実績	100.0%					
		2,036千円	0.00人		R元年度目標								
		2,095千円	0.00人		100.0%								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	平成30年度は新規就農者が0人であり、目標未達成であった。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	15,000千円	14,121千円	①給付対象者人数 ② ③	新規就農者数	農業従事者の高齢化や後継者不足の進展、耕作放棄地の増大という諸課題を解決するため、新たな担い手として独立自営就農を行う新規就農者の人数を目標として設定した。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	農業人材力強化総合支援事業実施要綱、所沢市経営開始資金事業実施要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)									
	経営開始資金事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	農業経営を開始した45歳未満の独立・自営農業者で、人・農地プランに地域の中心となる経営体として位置付けられている、または、位置付けられることが確実と見込まれている青年新規就農者に対し、就農初期段階の経営の安定化を図るため、経営開始資金を交付し、支援する。	0.18人		3人		5人							
	期間	H24年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①9人 ② ③	H30年度目標	H30実績	1人					
		1,527千円			R元年度目標								
		1,257千円			1人								

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト	活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	平成30年度は、1法人、4,000㎡が農地の賃借を行い、支援を行うことができた。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	147千円	132千円	①対象法人数	農地所有適格法人等規模拡大面積	農業従事者の高齢化や後継者不足の進展、耕作放棄地の増大という諸課題を解決するため、事業対象となる農地所有適格法人等の規模拡大面積を目標設定した。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市農地所有適格法人等支援事業費補助金交付要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②対象面積								
	農地所有適格法人等支援事業	事業の目的及び具体的な内容	21千円	4千円	③	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H27年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	17,000㎡	17,000㎡	目標達成済					
			0.17人	非常勤特別職	①1社	H30年度目標	H30実績						
		1,442千円	臨時職員	②4,000㎡	2,000㎡	4,000㎡							
		遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、遊休農地等を耕作地として拡張した際に、この農地所有適格法人等に対し、借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	R元年度目標		評価者	農業振興課長 青木 一圭	都市部での企業やNPO法人の新規参入を後押しをする農地の賃借円滑化が成立し、今後は市街化区域も含めた農地の有効活用に向けて制度の運用を図っていく。			
			838千円	臨時職員		5,000㎡							
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	新規就農者の農地拡大面積を大幅に増加させることができた。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,901千円	1,363千円	①農業機械の導入	新規就農者の農地拡大面積	新規就農者のうち、当該事業対象者が、該当する年度中に新規に借り受けた農地の面積(賃借借＋使用賃借/更新面積は含めない)を目標として設定した。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市新規就農円滑化推進事業費補助金交付要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②新規就農者の農地拡大面積								
	新規就農円滑化推進事業	事業の目的及び具体的な内容	560千円	315千円	③	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H27年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	20,000㎡	64,824㎡	目標達成済					
			0.20人	非常勤特別職	①0台	H30年度目標	H30実績						
		1,697千円	臨時職員	②48,125㎡	25,000㎡	48,125㎡							
		農業従事者の高齢化や後継者が不足する中で、農業の担い手となる新規就農者に対し、農業経営の早期安定化のため、農業用機械の導入費用の一部を借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	R元年度目標		評価者	農業振興課長 青木 一圭	農業委員会と連携を密にし、農地賃借のマッチングを積極的に進めるとともに、新たな若手農業希望者の掘り起しが必要である。			
			0.18人	非常勤特別職		25,000㎡							
			1,508千円	臨時職員									
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の希望者も多く、認定農業者の経営を改善する上でも有効な事業の1つであるとする。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	14,400千円	14,400千円	①気象条件に左右されない農業施設	機械・施設導入によって経営が改善した経営体数	導入2年後の検査で、所得向上または労働時間短縮となった経営体の数を指標とする。目標値としては、補助を受けられる経営体数を考慮し、前年度と同じ水準を目標とする。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市認定農業者等経営改善推進事業実施要領	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②農作業の省力化、効率化が図れる施設・機械								
	認定農業者等経営改善推進事業	事業の目的及び具体的な内容	14,400千円	14,263千円	③環境にやさしい資源循環型農業用施設・機械	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	期間	H20年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	12件	12件	目標達成済					
			0.24人	非常勤特別職	①2件	H30年度目標	H30実績						
		2,036千円	臨時職員	②10件	12件	15件							
		認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。①気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図れる施設や機械③環境にやさしい資源循環型農業に資する施設や機械④その他農業経営改善計画の実現に資する必要な施設や機械の整備に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の1/2以内で135万円を限度として補助する。ただし、施設の場合は180万円を限度とする。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③0件	R元年度目標		評価者	農業振興課長 青木 一圭	要綱等で詳細が定められていない部分について、統一的な運用が図れるように内規の一部を改定した。また、補助の要件である名入れの方法について、実態に即した変更を加えた。			
			0.25人	非常勤特別職		12件							
			2,095千円	臨時職員									
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標以上の成果が上がっており、家畜伝染病の発生もなく、一定の成果があげられたと考える。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	900千円	900千円	①豚丹毒(生)予防事業	実施頭数の合計	家畜伝染病の発生防止、周辺環境問題の発生防止を図ることを目的としているため、予防接種の実施頭数を指標としたい。目標値としては、家畜(牛・豚)飼育頭数と事業主体からの申請を基に、申請予想頭数を指標とした。	H30目標値が未達成の理由・分析					
	根拠法令	家畜伝染病予防法、所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市家畜防疫対策事業実施要領	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②乳牛検査事業								
	家畜防疫対策事業費補助事業	事業の目的及び具体的な内容	900千円	900千円	③	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	期間	S62年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	1010頭	1324頭	目標達成済					
			0.13人	非常勤特別職	①1,113頭	H30年度目標	H30実績						
		1,103千円	臨時職員	②164頭	1010頭	1277頭							
		家畜への定期的なワクチン接種と検査を実施し、家畜伝染病の発生防止を図る。また、薬剤等の共同購入により、臭気及び害虫等による周辺環境問題の発生防止を図る。事業主体の申請に基づき、家畜伝染病の予防接種並びに検査、環境汚染問題を回避するために、必要な薬剤の購入等経費の一部を補助する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	R元年度目標		評価者	農業振興課長 青木 一圭	引き続き防疫対策、環境対策の意識向上に努め、定期的にワクチン接種と検査を実施することで家畜伝染病の予防に努めていく。			
			0.15人	非常勤特別職		1010頭							
			1,257千円	臨時職員									

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	農業者の高齢化や担い手不足等に伴い、薬剤補助を受ける農業者数が減少してしまった。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,620千円	1,620千円	①補助実施戸数 ② ③	薬剤補助を受けた農家戸数	病害虫防除のための薬剤を購入した農業者への支援であるため、薬剤補助を受けた農家戸数を指標としている。目標値としては、事業主体からの申請に基づき実施するため、申請予想農家戸数となっている。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	所沢市病害虫防除対策事業実施要領、所沢市農業振興総合対策要綱	1,620千円	1,620千円	511戸			511戸								
	病害虫防除対策事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30目標値が未達成の理由・分析	H30目標値が未達成の理由・分析								
	期間	S63年度～	0.07人	0.00人			H30年度目標	H30実績							
594千円			0.00人	500戸			392戸								
H30正規職員人件費			H30その他職員従事割合	R元年度目標											
0.10人	0.00人	400戸													
838千円	0.00人														
安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。土壌病害虫、根腐病、野菜へのコガネムシ、茶の葉巻虫、カンザワハダニ等を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。	①392戸 ② ③	高齡化等に伴い年々農業者数が減少している他に、農業者から要望はあるが、生活環境の面から補助対象としていない薬剤があるため。													
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値が未達成であるため。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	40千円	40千円	①講演会の開催 ② ③	認定農業者講演会における認定農業者等の参加人数	認定農業者の経営改善意欲向上を目的とした講演会であるため、講演会に参加した認定農業者等の参加人数を指標としている。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	農業経営基盤強化促進法	80千円	53千円	50人			55人								
	認定農業者育成事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30目標値が未達成の理由・分析	H30目標値が未達成の理由・分析								
	期間	H8年度～	0.26人				H30年度目標	H30実績							
2,206千円				50人			49人								
H30正規職員人件費			H30その他職員従事割合	R元年度目標											
0.28人		50人													
2,346千円															
認定農業者制度は、農業者が「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」(平成26年9月)に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者に対して重点的に支援措置を講じるもの。	①1回 ② ③	農業者の関心の高い「収入保険制度」や「所得向上対策」の講演会を実施したものの、例年とは開催時期が一週ずれたこともあり、参加者数の目標を達成できなかった。													
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標値は未達成とはなかったが、周知先にJAIいるま野の店舗を増やすことにより、昨年度よりも参加人数を増やすことはできた。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	530千円	530千円	①研修・交流会・イベント開催数 ②農業サポーター人数 ③	研修・交流会・イベントへの参加人数	生産者同士だけでなく、市民などの消費者との交流をする機会を増やすことで、生産者や農作物とふれあい、農業に対する理解と関心を深めてもらうことができるため、交流会等の参加者数を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	所沢市農業振興総合対策要綱 農業後継者育成確保推進事業実施要領	530千円	530千円	50人			22人								
	農業後継者育成確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30目標値が未達成の理由・分析	H30目標値が未達成の理由・分析								
	期間	S58年度～	0.15人				H30年度目標	H30実績							
1,273千円				50人			34人								
H30正規職員人件費			H30その他職員従事割合	R元年度目標											
0.17人		50人													
1,425千円															
次代を担う優れた農業後継者及び担い手確保を目的に、所沢市農業後継者対策連絡会の事業の一環として、市内農家へのボランティアによる援農活動を中心とした農業サポーター制度、農産物収穫体験、農業後継者に対する結婚活動イベントなどを実施している。	①2回 ②23名 ③	参加人数は昨年度よりも増えたものの、交流会等の開催回数が昨年度と同じであったため。													
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	農業後継者の減少の中で、目標の達成が図れたため。後継者の育成・確保するために、農作業を効率化する施設及び農業機械の導入補助は重要であり、今後も継続して行っていく必要がある。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	6,750千円	6,676千円	①機械・施設の導入件数 ② ③	機械・施設導入によって経営が改善した経営体数	導入2年後の検査で、所得向上または労働時間短縮となった経営体の数を指標とする。目標値としては、補助を受けられる経営体数を考慮し、前年度と同じ水準を目標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
	所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市農業後継者経営改善推進事業実施要領	6,750千円	6,434千円	5件			5件								
	農業後継者経営改善推進事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30目標値が未達成の理由・分析	H30目標値が未達成の理由・分析								
	期間	H20年度～	0.24人				H30年度目標	H30実績							
2,036千円				5件			7件								
H30正規職員人件費			H30その他職員従事割合	R元年度目標											
0.25人		5件													
2,095千円															
農業後継者が意欲的に農業経営の改善と省力化を推進し、効率的な生産と生産物の品質向上を図ることが可能となるように補助する。農業後継者が集団を組織し、経営改善・省力化のための機械や施設の整備を行い、補助事業の導入効果について市に研究レポートを提出する。予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の2分の1以内で135万円を限度として補助する。	①6件 ② ③	目標達成済													

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	連携事業として市民向け講習会の講師として教授等を招聘するだけでなく、所沢市産業振興ビジョン推進会議委員や所沢市都市農業振興基本計画懇談会委員などを担っていたり、大学の知識を積極的に市政に提供いただいている。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	170千円	48千円	①都市農業振興研究会(東京農工大学連携推進協議会) ②イベント等実施 ③調査実習・講習会・委員会等実施	連携・交流取組回数		平成25年7月に官学連携協定を締結し、現在まで盛んに連携協定の取組がなされてきた。今後も強固な連携を図っていくため、連携協定企画として取組を実施した回数を目標設定した。また、大学側の都合も考慮し、前年度と同等の目標値とした。						
	根拠法令	-	H30予算現額	H30決算額(見込み)		実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	国立大学法人東京農工大学の持つ知的資源を活用して都市農業の重要性を再認識し、農業の担い手の育成・確保や将来の農業経営にかかる問題解決に向けて、若手農業者や先進的な取組を行っている農家との交流を通じ、農業の振興を図る。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①1回	8回	8回	目標達成済						
	期間	H25年度～	0.19人	非常勤特別職	②3回	H30年度目標	H30実績							
		1,612千円	臨時職員	③4回	8回	8回								
農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標を達成し、農業者年金の加入推進を果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、制度の周知を図り加入推進に努める。	H30年度に改善した点	無	無
	優先	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	38千円	21千円	①加入推進戸別訪問 ②新規加入者数	新規加入者数(人)		農業者年金への加入推進が目的であることから、新規加入者数を指標とする。長期加入による利益を享受できる20歳代の若年農業者や加入資格を得た新規就農者を中心に推進することを考慮した目標値とする。						
	根拠法令	農業者年金基金法	H30予算現額	H30決算額(見込み)		実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する20歳以上60歳未満の農業者を対象に、将来サラリーマン並みの年金受給を確保し老後生活の安定を図る。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①27人	2人	7人	目標達成済						
	期間	S45年度～	0.18人	非常勤特別職	②8人	H30年度目標	H30実績							
		1,527千円	臨時職員	0.00人	2人	8人								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	講習会参加者の約60%から「内容に満足している」との声をいただいでおり、実際に畑を見ながら指導した農場では、「実地指導が良かった」との好評を得ている。今後も周知に努め多くの利用者に参加していただき技術向上に繋がるよう努めていきたい。	H30年度に改善した点	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	315千円	280千円	①講習会参加人数 ②コンテスト参加人数 ③農作業体験参加人数	体験農場講習会参加人数		利用者の技術と意欲の向上、及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。						
	根拠法令	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	H30予算現額	H30決算額(見込み)		実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	体験農場利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深め、農のあるまちづくりを進めるため、講習会や野菜及び区画圃場コンテスト、農家での農作業体験を実施した。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①66人	170人	192人	第一回の講習会は、2日間の開催予定であったが、悪天候により1日のみの開催となった。						
	期間	H27年度～	0.22人	非常勤特別職	②33人	H30年度目標	H30実績							
		1,867千円	臨時職員	③3人	170人	66人								
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験などの各種PR事業の開催においては、毎回好評をいただいている。また、市内農業者等が販売する、採れたて！農産物直売「とことこ市」では、売上が前年比増加していることなどから、消費者に地産地消が浸透してきたと考える。	H30年度に改善した点	有	有
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,160千円	3,629千円	①とことこ市開催回数 ②とことこ市売上実績 ③体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	所沢産農産物の直売所への出荷割合		地元の農産物がどれだけ所沢で消費されているのかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直売所又は、スーパーなどへの出荷を指標とした。						
	根拠法令	-	H30予算現額	H30決算額(見込み)		実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	新鮮でおいしい地元産農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。そのために、市民への農産物のPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。また市内の直売施設のPR活動を進める。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①25回	60%	67%	目標達成済						
	期間	H15年度～	0.80人	非常勤特別職	②6,401,379円	H30年度目標	H30実績							
		6,788千円	臨時職員	③10組(20人)	60%	64%								

第5章 産業・経済 第1節 農業

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	ほとんどの利用者は良好な耕作状況となっているが、一部の利用者による体調不良や怪我等のやむを得ない理由により、指導実績が目標値よりも高くなった。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,113千円	2,026千円	①貸出区画数	利用者への指導件数	月1回、全体験農場を巡回し、利用・管理状況について確認を行っている。耕作状況が良くない区画について、利用者へ伝え有効利用できるよう改善していただくとともに、自然とのふれあいや農業への理解の向上を図っているため、指導件数を指標としている。								
	根拠法令	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②受益者負担金										
	事業の目的及び具体的な内容	698千円	822千円	③	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	一般	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	50件以下	103件	利用者への周知は図っているが、体調不良や怪我等のやむを得ない理由により、除草作業や農機具残置につながったと考える。								
	0.73人	非常勤特別職	①387区画	H30年度目標	H30実績										
6,194千円	臨時職員	②1,224,000円	50件以下	269件											
期間	S59年度～	市民に農作業を体験していただき、農業への理解を深めてもらうため、市内7箇所に体験農場を設置し、貸し出している。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	R元年度目標	100件以下	評価者	農業振興課長 青木 一圭	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
5,363千円	臨時職員									規程の周知徹底や講習会の充実により、体験農場を有効利用していただけるよう努めるとともに、利用希望者が多いことから計画的に整備を進め、利用者満足度の向上に努めていく。					
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標を超える成果が出ている。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	220千円	220千円	①お茶の淹れ方講習会への参加者	お茶の淹れ方講習会への参加者	市民と茶生産者との交流の場とすることを目的としているため、お茶の淹れ方講習会への参加者を指標とする。また、目標値は講習会の定員数とする。(平成30年度からは会場変更により定員数減少)								
	根拠法令	所沢市補助金等交付規則 ところざわ新茶まつり開催費補助金交付要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②茶摘み体験参加者										
	事業の目的及び具体的な内容	220千円	220千円	③	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	一般	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	60人	60人	目標達成済								
	0.23人	非常勤特別職	①60人	H30年度目標	H30実績										
1,952千円	臨時職員	②50人	48人	60人											
期間	H8年度～	新茶まつりの開催の支援を行うことで、所沢市の特産品である狭山茶の普及宣伝を行うとともに、市民と茶生産者の交流の場とすることを目的とする。所沢市茶業協会主催のもと、新茶の時期に合わせて、茶摘み体験、お茶の淹れ方講習会、手揉み茶の実演、新茶の試飲、販売などを実施している。平成30年度からは、会場を市役所西口広場から航空記念公園駅前広場に移動して開催している。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	R元年度目標	48人	評価者	農業振興課長 青木 一圭	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
2,011千円	臨時職員									来場者が、駅前ロータリーを横断する際に、これからも自動車との事故がないように交通整理を行っていく。今後も狭山茶の普及宣伝となるよう開催の支援を行っていく。					
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	天候にも恵まれ、売り上げ実績を達成できた。また、2日目の2時頃には、各店で売り切れになるなど、売れ行きも好調だった。	H30年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	500千円	500千円	①農業祭実施	売上実績	所沢農産物を生産者が直接販売するイベントにおいての、所沢農産物の認知度や需要を知るために指標を売上実績とした。目標値はその時期により相場の変化があることから、前年実績と同様にした。								
	根拠法令	所沢市補助金等交付規則 所沢市農業振興総合対策要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②農業祭実行委員会										
	事業の目的及び具体的な内容	500千円	500千円	③共進会・品評会	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	一般	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	4,500千円	2,549千円	目標達成済								
	0.24人	非常勤特別職	①2日	H30年度目標	H30実績										
2,036千円	臨時職員	②3回	4,500千円	4,596千円											
期間	S53年度～	販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③6件	R元年度目標	4,500千円	評価者	農業振興課長 青木 一圭	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
1,844千円	臨時職員									スケジュールを上手に管理しながら、さらにステージ内容の充実を図ることで、農業祭を盛り上げるとともに集客に繋げて行く。					
農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市都市農業振興基本計画の策定に向け、スケジュールどおり作業が進んだため。	H30年度に改善した点	有	有		
	優先事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加			①庁内ワーキンググループ会議開催数	計画策定の進捗率	R元年度の計画策定に向けてスケジュールどおり進めるため、計画策定の進捗率を目標とした。								
	根拠法令	都市農業振興基本法	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②地権者へのアンケート実施回数										
	事業の目的及び具体的な内容	181千円	174千円	③懇談会開催数	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	一般	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	50.0%	50.0%	目標達成済								
		非常勤特別職	①2回	H30年度目標	H30実績										
	臨時職員	②1回	50.0%	50.0%											
期間	H30～H31	都市農業振興基本法に基づき、都市農業の振興に関する計画(地方計画)を策定し、都市に「あるべきもの」である農地の活用・保全と都市農業の安定的な継続を図る。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③1回	R元年度目標	100.0%	評価者	農業振興課長 青木 一圭	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
4,358千円	臨時職員									今後は、市民との共有を図るため、市民説明会、パブリックコメント手続を実施し、市民の意見を確認・反映させていく。					